

# 家保通信

Vol. 38 No. 5 8月号  
東京都家畜保健衛生所

令和6年7月22日

かほクイズ

搾乳牛が1日に必要な水分量はどれくらいでしょう？

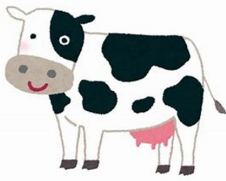
- ①約10L
- ②約50L
- ③約100L

答えは裏面

## 暑熱対策をしましょう

今年も暑い日が続いています。暑熱対策をして、家畜への被害を防ぎましょう。

家畜が暑さを感じる温度



約19℃



約22℃



約26℃

対策が不十分だと...



食欲不振  
乳量低下  
産卵率低下  
繁殖能力低下  
へい死

### 暑熱対策具体例

#### 環境面

- ・屋根への石灰散布
- ・屋根へのスプリンクラー設置
- ・よしずによる日除け
- ・換気扇、扇風機の設置

(風速1m/秒で体感温度約6℃低下)



石灰散布

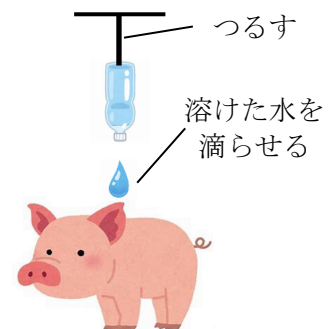


換気扇

#### 飼養管理面

- ・十分量のきれいな水の確保
- ・涼しい時間帯に複数回に分けた飼料の給与
- ・ビタミン、ミネラルの補給
- ・畜体へのミストの散霧 (湿度の高いときは避ける)
- ・毛刈り、体表の糞便の除去 (牛)
- ・凍らせたペットボトルから頸部に水を滴らせる (豚)

サイレージの変敗しやすい時期です。  
直射日光を避けて保管し、開封後は変敗防止剤を添加しましょう。



参考：農水省HP



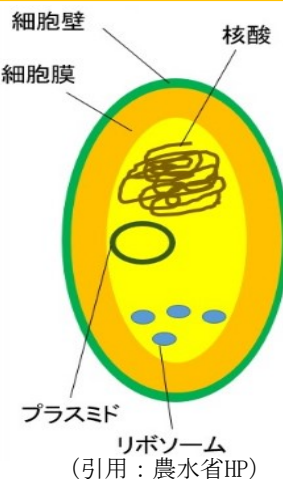
## 細菌とウイルスの違い、ご存知ですか？

家畜の感染症の大部分は、細菌やウイルスを原因としています。細菌とウイルスはいずれも肉眼で見ることができませんが、構造や増殖方法などは大きく異なります。今回は細菌とウイルスの違いについてご紹介します。

### 細菌

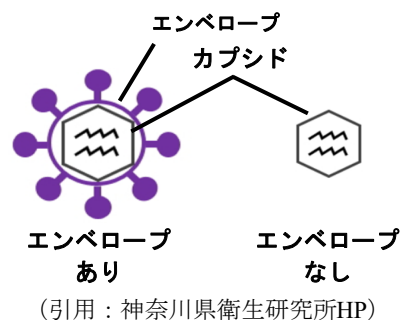
大きさ約 $1\mu\text{m}$ の微生物で、単独で増殖します。細菌の中には芽胞という耐久性の高い構造を備えているものがあり、芽胞菌の消毒には塩素系やアルデヒド系等の強力な消毒薬が必要です。

細菌感染症の治療薬には抗菌薬があります。ただし、抗菌薬の不適切な使用は薬剤耐性菌の発生につながるため注意が必要です。また、抗菌薬を使用する際には休薬期間や使用禁止期間を守り、獣医師の指示のもとで適切に使用しましょう。



### ウイルス

大きさ約 $0.1\mu\text{m}$ の微生物です。自ら増殖することができず、生きた細胞の中で増殖します。ウイルスの中にはエンベロープという膜を持つものと持たないものがあります。エンベロープのないウイルスにはアルコールや逆性石鹼等の消毒薬が効きにくいいため、ウイルスの種類により消毒薬を選択する必要があります。



予防にはワクチンを用い、家畜の感染症では治療薬がありません。抗菌薬も効果がありません。


	細菌	ウイルス
感染症の例	<b>一般細菌</b> ヨーネ病、サルモネラ症、レプトスピラ症、豚丹毒など <b>芽胞菌</b> 炭疽、破傷風など	<b>エンベロープあり</b> <b>豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ、牛ウイルス性下痢、牛伝染性リンパ腫</b> など <b>エンベロープなし</b> <b>口蹄疫、牛ロタウイルス病、豚サーコウイルス関連疾病</b> など

消毒薬については来月号でご紹介します！

#### クイズの答え：③

搾乳牛は搾乳、尿や糞の排せつ、発汗や呼吸により体内から水分を失います。搾乳牛が1日に必要な水分量は乳量の約3倍と言われており、1日に約30～50L搾乳される高泌乳牛では約100Lの水分が必要になります。

発行日 令和6年7月22日

編集発行  東京都家畜保健衛生所

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町  
大字平井2759

TEL : 042-588-7171

携帯 : 090-6941-4315 (緊急用)

